

福島県指定史跡

まえ
前

だ
田

い
遺

せき
跡



昭和42（1967）年に一度発掘調査が行われましたが、当時の調査内容では不明なところ（環状列石のことも含め）もあり、平成12（2000）～15（2003）年にかけて再調査を行いました。

その結果、縄文時代中期後半（約4,500年前）～末（約4,000年前）にかけての家の跡が50軒以上も見つかり、相当規模の集落があったことがわかりました。また、敷石住居と呼ばれる跡や複式炉、形状の変わった土器なども見つかりました。

※注記：前田遺跡の環状列石と呼ばれた跡については、ほかの著名な環状列石とは性格が異なるものかもしれません。